星に願いを

嶺羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
星に願いを

【Ｎコード】
Ｎ３６１０Ｈ

【作者名】
嶺羅

【あらすじ】
七夕にちなんだ、蘭とコナンの話です。蘭とコナンならこんな感じなんだろうなぁと思って書きました＾＾

もしこの願いが叶うなら

他には何もいらない

何も望まないから――……

―7月7日―

今日は七夕の日。

夜にはきれいな天の川が見れるというのに、今日はあいにくの雨。

オレは探偵事務所の窓を開けて外を眺めていた。
すると後ろから蘭が声をかけてきた。

「雨、降っちゃったね…これじゃあ織姫と彦星が再開できないよ…。」

そういって蘭は空を見上げて淋しそうな顔をした。

「…私も、新一と会えないのかな…。」

そう呟く蘭の顔が、とても悲しそうで、オレの胸を突いた。

「大丈夫だよ、きっと。新一兄ちゃんは帰ってくるよ。」

「…ありがと、コナンくん。」

そう言って蘭はまた空を見上げた。

「…雨、止むといいな。」

「…そうだね。」

蘭と一緒に空を見上げていると、おっちゃんが何かを抱えた様子で帰って来た。

「おーい、開けてくれ！」

「はいはい。ちょと待って、今開けるから。」

そう言って蘭は事務所のドアを開けた。

すると小五郎は、あるものを抱えていた。

「お、お父さん、それどうしたの?!その笹！」

「あ、あぁこれか?今日依頼人からの報酬を受け取りに行ったんだ。そしたらついでにこれもって…。」

「そうなんだぁ。あ、そうだコナンくん！この笹に短冊掛けようよ！雨で天の川は見えないけどさ。」

「うん、いいよ。」

「部屋に短冊あるから、私取ってくるね！」

「わかった。」

蘭は短冊を書くと、早速笹に短冊を掛け始めた。

オレはと言うと何も書くことがなく、頬ずえを付いていた。
すると蘭が近づいてきて、オレの短冊を覗き込んだ。

「あれ、コナンくん。書かないの？」

「あ、うん…。蘭姉ちゃんはなんて書いたの？」

「私？私は、『新一が帰って来ますように』って書いたの。」

「そうなんだ。じゃあボク、蘭姉ちゃんの為に短冊にお願いしてあげるよ。」

「いいよ、コナンくんは自分のお願いを書いて。」

「ボク書くことないし…。それに二人でお願いした方が効くかもしれないでしょ？」

「…そうだね！ありがと、コナンくん。じゃあよろしくね。」

「うん。…『新一兄ちゃんが蘭姉ちゃんの所に帰って来ますように。』…よし。」

オレは短冊を書き終えると、蘭に頼んでもう一枚短冊を貰った。
そして願い事を書くと3階へ行き、
コッソリ空に向かって短冊の願いを読み上げた。

「『蘭の元へ帰れますように…』」

自宅から出て事務所に戻ると、蘭がオレに声をかけてきた。

「コナンくん！来てみなよ！空が晴れたよ！！」

「え？」

いつの間にか空はすっかり晴れていて、夜空にはきれいな天の川が見えていた。

「わぁ、きれいだね…。これで織姫と彦星が会えるね！」

「うん、そうだね！」

蘭は天の川をキラキラとした瞳で眺めながら時たまオレの方を見ては「きれいだね」と繰り返していた。

そんな蘭を見ながら、よりいっそう、

蘭の元へ帰ろうという気持ちが高まったオレだった。

蘭、絶対帰るからな――

（後書き）

こんばんは☆
今日は七夕ですね☆★
この話は、今日の授業の時に思いついた話です。
今日は七夕…しかしながら私の地域では、
さっき執筆している最中に雷がなり、今空は曇っています。はてさて、天の川は見れるのでしょうか…？笑
たしか去年も曇りだったような…泣

それでは、皆さんが天の川を見れるように、そして、皆さんの願いが叶いますよう願って☆

評価・感想など頂けると幸いです。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n3610h/

星に願いを

2010年10月9日23時36分発行